～生徒会役員決定号～

Newspace

郡山東高校新聞 速報版７９号

編集・発行
郡山東高等学校新聞部
発行人　古川　美羽
編集人　遠藤　綾乃
〒963-8832　福島県
郡山市山根町13-45
電話　024-932-0898

新たな顔ぶれ選挙で決まる

今月23日の生徒会選挙では久しぶりに2つの役職で選任投票が行われた。放送による立会演説会や、日程を限定しながら選挙運動を行う異例の生徒会選挙となったが、候補者の熱い演説により、7名の新役員が決まった。

今月23日に令和２年度生徒会役員選挙が行われた。その結果、生徒会長に須藤順子さん（２年）が選ばれるなど、新役員７人が選ばれた。総投票数は８０６票、有効投票は７８８票だった。選挙は先月26日に告示され、選任投票で副会長に根本陸斗さん（１年）、佐藤叶夢さん（１年）、会計に田中愛波さん（２年）、磯友晴さん（１年）、信任投票により３名が信任された。

23日に行われた放送による生徒会立会演説会で新生徒会長の須藤さんは「学校にＷｉ-Ｆｉを設置し、校内でのインターネットを使った活動を盛んにしたい。設置場所など決めるべきことはたくさんあり、簡単ではないが生徒のみなさんに満足してもらえるように努めたい」と決意を語った。また、書記に任命された渡部寧々さん（２年）は「より一層気を引き締めて生活していき、自分の仕事を全うし、少しでも生徒会をサポートしていきたい」と意気込んだ。（華子）

新生徒会役員は以下の通り

会長　須藤　順子　２-４

副会長　根本　陸斗　１-３
佐藤　叶夢　１-５

書記　渡部　寧々　２-６
大竹　統也　１-７

会計　田中　愛波　２-４
磯　友晴　１-４

→新役員に任命された生徒会役員。上段左から大竹さん、渡部さん、磯さん、田中さん
下段左から佐藤さん、須藤さん、根本さん

陸上男女リレー 東北大会に出場

先月29日から31日にかけて陸上競技部は郡山ヒロセ開成山陸上競技場で行われた県南地区大会、今月12日から14日に行われた県大会に出場した。男子は、遠藤勇貴さん（２年）、大越友弥さん（２年）、根本寛大さん（１年）、鈴木晴太郎さん（２年）が４×４００ＭＲで４位となり東北新人大会出場を決めた。また、女子では富岡花菜さん（１年）、新田陽菜さん（１年）、藤田奈々花さん（１年）、田澤瑠夏さん（２年）が４×１００ＭＲで４位となり同じく東北新人大会出場を決めた。東北新人大会は、来月２日から４日にかけて岩手県の北上総合運動公園北上陸上競技場で開催される予定だ。

主な大会結果は以下の通り

陸上競技（Ｈはハードル、Ｒはリレー）

●福島県高等学校新人体育大会陸上競技県南地区大会
【男子】
▽１００Ｍ　大越友弥　７位
▽４００Ｍ　鈴木晴太郎　６位
▽１１０Ｍ　遠藤勇貴　１位
▽４×１００ＭＲ　根本寛大・大越友弥　遠藤勇貴・鈴木晴太郎　４位
▽やり投げ　棚木大輔　４位
【女子】
▽２００Ｍ　藤田奈々花　３位　富岡花菜　田澤瑠夏　４位
▽４００Ｍ　藤田奈々花　５位
▽１００ＭＨ　柳沼栞凛　４位
▽４×１００ＭＲ　富岡花菜・新田陽菜　藤田奈々花・田澤瑠夏　２位
▽４×４００ＭＲ　田澤瑠夏・藤田奈々花　新田陽菜・富岡花菜　３位
▽砲丸投　服部七渚　８位

●福島県高等学校新人陸上競技大会
【男子】
▽１１０ＭＨ　遠藤勇貴　６位
▽４×４００ＭＲ　遠藤勇貴・大越友弥　根本寛大・鈴木晴太郎　４位
＝東北大会出場
【女子】
▽２００Ｍ　藤田奈々花　８位
▽４×１００ＭＲ　富岡花菜・新田陽菜　藤田奈々花・田澤瑠夏　４位
＝東北大会出場
▽４×４００ＭＲ　田澤瑠夏・藤田奈々花　新田陽菜・富岡花菜　５位

ソフトテニス

●新人戦地区大会
【男子】
◆団体　３位
◆個人　兼田・常田ペア　５位　中山・新井ペア　菊地・須佐ペア
＝県大会出場
【女子】
◆団体　３位
◆個人　遠藤・宗像ペア　ベスト８　平栗・安部ペア　増戸・吉田ペア
＝県大会出場

野球

●第72回秋季東北地区高等学校野球福島県大会県中支部大会
▽本戦　郡山東１-11日大東北
▽敗者復活戦　郡山東４-10郡山商

卓球

●福島県卓球選手権大会ジュニアの部
◆シングルス　真壁響己　３回戦進出

弓道

●福島県高等学校新人体育大会県南地区大会
【男子】
◆個人　槌谷柊紀　７位　長嶋峻矢　11位　安倍貴寛　16位
＝県大会出場
【女子】
◆団体　今野結唯・鹿又悠莉　鈴木礼彩・金澤遥希　大島愛黎・伊藤絢菜　６位
高橋希園
＝県大会出場
◆個人　渡部実里　５位　鈴木礼彩　９位　今野結唯　16位
＝県大会出場

サッカー

●高校サッカー選手権大会
郡山東５-０小名浜
郡山東２-３相馬東
郡山東５-０いわき総合
郡山東０-０平商
●福島県南Ｕ17秋季大会
郡山東０-０白川実業　ＰＫ勝ち
郡山東２-０あさか開成
郡山東１-０安積黎明
▽準決勝　郡山東１-１郡山　ＰＫ勝ち
▽決勝　郡山東０-４帝京安積
＝準優勝

バスケ

●福島県高等学校バスケットボール選手権大会県南地区予選会
【女子】
＝県大会出場

放送

●福島県高校放送コンテスト
◆アナウンス部門優秀賞
●全国高等学校総合文化祭ＷＥＢ　ＳＯＵＢＵＮ出場　吉田実来

新聞

●第24回全国高校新年間紙面審査賞優良賞

合唱

●福島県合唱コンクール銀賞

各部活動に対し、取材のご協力、心より感謝申し上げます。

→県大会出場を決めた弓道部員

ひと

「物事をよく見る」新生徒会長　須藤（すどう）　順子（よりこ）さん（２年）

「物事をよく自分の目で見ること」。写真部の活動で学んだことをこう語った。

中学校では、生徒会には入らず吹奏楽部でフルートを担当していた。友達が生徒会役員として仕事をする姿に憧れ、高校では生徒会に入ると決めていた。高校に入学すると、吹奏楽部には入らず、写真部へ入部した。そして中学校から抱いていた強い思いを持ち、生徒会に入った。

東高は行事が多く、その中でも一番大変だった仕事は、体育祭の運営だった。その苦労や努力を積み重ね多くの仕事をこなしてきた。東高は、Ｃｌａｓｓｉやマナビジョンのようにスマホを使う機会が多い。Ｗｉ-Ｆｉを設置することで東生がより活発に活動できるようにＷｉ-Ｆｉの設置を公約に掲げた。この公約が果たせた後の目標は自習室の増設だ。東生の中には遠方から来る人や、電車での通学をしている人が多くいる。その中でも、電車の本数が限られ、待ち時間が長くなってしまうことがある。そのため「遠方から来る人に自習室を開けてあげたい」と高校１年生のころから考えていた。

高校卒業後の夢は幼稚園教諭になること。元々小さい子どもが好きで、この夢を中学２年生のころから目指していた。そして近年度々話題に上がる待機児童のニュース。それを見て、ますます幼稚園教諭が求められる社会となるだろうと思ったからだ。

これまでとは違う生徒会長という立場に立つことについて「生徒会長は指示を出す仕事なので、今まで自分が経験してきたことを行事を通して後輩に伝えたい」と語った。

「物事をよく自分の目で見ること」。ある対象をじっくり見て観察する力は写真部で学んだことだ。その観察力があってこそ公約のように東生の声や不満にいち早く気づくことができたのだろう。

「私は東生全員と仲良くなりたいので、気軽に声をかけてください」と生徒会長への誇りと自信を語った。（紫衣）

東照手記

小さいころから何をするにも不安がり、怖がってばかりいた。授業中も積極的に発言をしたり、班長などの代表に立候補したりするような性格でもなかった。しかし、一つだけ昔から心に決めていることがある。それは「できるかできないかは分からないけど、興味を持ったもの、やってみたいと思えたものは挑戦をしてみる」ということだ▼昔から運動することが好きで、駅伝大会や市の水泳大会などにも積極的に参加してきた。最初は練習が辛くて、どうして参加したんだろうと思うこともあったが、今まで経験したことのなかった体験、新しい知識にどんどん惹かれていき、最後はこれまで参加してきて良かったという達成感が必ず生まれた▼中学３年生のとき、先生から学年代表でリレーに出てみないかと声をかけられた。最後の中体連前ということもあり、追い込みの時期でもあった。リレーに参加するということは、部活動と練習を両立して行われなければならない。最初は迷った。ただ、このまま参加しないというのは絶対後悔すると思ったことと、誰もができる経験ではない、やるだけやってみようと思い参加を決意した▼リレーの結果は納得のいくものではなかった。だが、結果よりもバトンをつなぎ４人で走り切った達成感や仲間からの声援、グラウンドに立ったときのワクワク感など、自分がやってみないと体験することのできない貴重な経験を得ることができた。その何にも代え難い満足感は、自分の中での宝物になった▼ロックバンド「ＵＶＥＲ ｗｏｒｌｄ」の「ＰＲＡＹＩＮＧ　ＲＵＮ」には「全部やって確かめりゃいいだろ」という歌詞が繰り返し登場する。この先がどこにつながっているのかは誰にも分からないが、行動しなければ何も変えることはできない。なら、全部確かめるしかないという覚悟と意志が伝わってくる。後悔しないために、できるかできないかを考えるより行動して確かめる、挑戦する気持ちを大切にこの歌詞のように走り続けたい。（総来）